



令和5年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年2月10日

上場会社名 株式会社 コンセック
コード番号 9895 URL <http://www.consec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡本 浩一

TEL 082-277-5451

四半期報告書提出予定日 令和5年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和5年3月期第3四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第3四半期	7,071	2.8	18		18	82.3	28	
4年3月期第3四半期	7,273	1.3	57	125.4	100	27.3	19	

(注) 包括利益 5年3月期第3四半期 41百万円 (60.2%) 4年3月期第3四半期 102百万円 (114.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第3四半期	15.51	
4年3月期第3四半期	10.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年3月期第3四半期	11,645	7,734	65.0
4年3月期	11,756	7,748	64.6

(参考) 自己資本 5年3月期第3四半期 7,571百万円 4年3月期 7,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
4年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期		0.00		30.00	30.00
5年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,750	3.3	50	84.6	100	72.9	40	33.0	22.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年3月期3Q	1,864,011 株	4年3月期	1,864,011 株
期末自己株式数	5年3月期3Q	70,812 株	4年3月期	70,640 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年3月期3Q	1,793,311 株	4年3月期3Q	1,793,540 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大第8波が全国的に広がる一方で、経済活動の正常化に向けた動向もあり、サービス消費を中心に改善傾向がみられました。しかしながら、生産コストの高止まりや生活必需品の値上げ、人手不足感などに加え、ウクライナ情勢の長期化や米中欧経済の減速懸念など、景気を下押しする要因も多くあり、企業にとっては厳しく不安定な経済情勢となりました。

このような環境のなか、当社グループは、継続して新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に努めつつ、積極的に顧客満足度を高めるための事業活動を推進してまいりました。各事業分野においては、新製品の開発、販路拡大、既存顧客の深堀等、基本的な事業活動を徹底してまいりました。しかしながら、建設・生活関連品事業、工場設備関連事業、IT関連事業においては、継続的な原材料の高騰、半導体不足、部品不足等の影響を大きく受け苦戦を強いられました。また、介護事業においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は70億71百万円(前年同期比2.8%減)となりました。損益面におきましては、営業損失は18百万円(前年同期は営業利益57百万円)、経常利益は18百万円(前年同期比82.3%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は28百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益19百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。(セグメント間の内部売上高は含まれておりません。)

(切削機具事業)

消耗品であるダイヤモンド工具の受注は順調に推移したものの、切削機具の受注が低調に推移し、売上高は24億91百万円(前年同期比2.7%減)となりました。原価、販売費及び一般管理費が嵩み、営業利益は1億76百万円(前年同期比29.9%減)となりました。

(特殊工事業)

インフラ整備関連のダム、高速道路、橋梁のメンテナンス等の受注は順調に推移したものの、市中の小規模工事が低調に推移し、売上高は13億12百万円(前年同期比5.5%減)となりました。原価低減にも努めましたが、販売費および一般管理費が嵩み、営業利益は1億3百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

(建設・生活関連品事業)

主要顧客である小口建設設備関連の需要が前年並みに推移し、売上高は23億99百万円(前年同期比0.8%増)となりました。原価、販売費及び一般管理費の低減にも努め、営業利益は73百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

(工場設備関連事業)

生産に必要な材料及び部品の入荷遅れによる納期の長期化もあり、売上高は4億63百万円(前年同期比3.8%減)となりました。原価が嵩み、営業損失は34百万円(前年同期は営業損失39百万円)となりました。

(介護事業)

新型コロナウイルス感染症の影響による各施設の利用者の減少により、売上高は2億66百万円(前年同期比9.0%減)となりました。原価、販売費及び一般管理費が嵩み、営業損失は22百万円(前年同期は営業損失2百万円)となりました。

(IT関連事業)

主要顧客からの受注が低調に推移したため、売上高は1億42百万円(前年同期比18.6%減)となりました。原価、販売費及び一般管理費の低減にも努めましたが、営業損失は20百万円(前年同期は営業損失20百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から1億12百万円減少し116億45百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加22百万円、棚卸資産の増加2億95百万円、売上債権の減少5億円などにより1億15百万円減少し55億86百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加44百万円、減価償却費1億3百万円などにより、4百万円増加し60億59百万円となりました。流動負債は、仕入債務の増加1億93百万円、未払法人税等の減少1億37百万円、賞与引当金の減少30百万円などにより、31百万円増加し28億32百万円となりました。固定負債は、長期借入金の減少1億13百万円、退職給付に係る負債の減少15百万円などにより1億29百万円減少し10億79百万円となりました。なお、長期・短期借入金は1億13百万円減少し10億84百万円となりました。株主資本は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円、配当金の支払54百万円により、82百万円減少し6億66百万円となり、株主資本合計で82百万円減少し72億82百万円となりました。その他の包括利益累計額は64百万円増加し2億89百万円、非支配株主持分は4百万円増加し1億63百万円となり純資産合計は14百万円減少し77億34百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年11月9日付で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,695,505	1,717,349
受取手形、売掛金及び契約資産	2,367,080	1,839,581
電子記録債権	177,562	205,342
商品及び製品	949,116	1,118,058
仕掛品	39,011	70,637
原材料及び貯蔵品	398,069	492,291
その他	80,082	149,033
貸倒引当金	△4,914	△6,160
流動資産合計	5,701,511	5,586,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,926,419	3,944,288
減価償却累計額	△2,862,597	△2,920,295
建物及び構築物 (純額)	1,063,822	1,023,993
機械及び装置	575,240	606,660
減価償却累計額	△442,457	△485,933
機械及び装置 (純額)	132,783	120,727
土地	3,483,010	3,483,010
その他	984,180	1,008,858
減価償却累計額	△901,250	△918,984
その他 (純額)	82,930	89,874
有形固定資産合計	4,762,545	4,717,603
無形固定資産		
のれん	12,563	9,137
その他	21,634	27,060
無形固定資産合計	34,197	36,196
投資その他の資産		
投資有価証券	648,642	692,469
繰延税金資産	87,662	74,685
退職給付に係る資産	264,204	270,688
その他	263,867	279,009
貸倒引当金	△6,204	△11,915
投資その他の資産合計	1,258,171	1,304,936
固定資産合計	6,054,914	6,058,736
資産合計	11,756,424	11,644,866

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,154,392	1,090,651
電子記録債務	646,583	903,216
短期借入金	515,228	515,625
未払法人税等	153,259	16,599
賞与引当金	109,569	79,638
完成工事補償引当金	462	503
その他	221,129	225,345
流動負債合計	2,800,622	2,831,576
固定負債		
長期借入金	681,860	568,401
役員退職慰労引当金	143,116	145,314
退職給付に係る負債	332,691	317,847
その他	50,110	47,522
固定負債合計	1,207,777	1,079,085
負債合計	4,008,399	3,910,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,090,270	4,090,270
資本剰余金	2,629,074	2,629,074
利益剰余金	747,426	665,809
自己株式	△102,978	△103,188
株主資本合計	7,363,792	7,281,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,531	35,623
為替換算調整勘定	125,616	201,695
退職給付に係る調整累計額	65,915	52,073
その他の包括利益累計額合計	225,062	289,390
非支配株主持分	159,172	162,851
純資産合計	7,748,025	7,734,206
負債純資産合計	11,756,424	11,644,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	7,272,962	7,071,436
売上原価	5,538,121	5,411,394
売上総利益	1,734,841	1,660,042
販売費及び一般管理費	1,677,414	1,677,857
営業利益又は営業損失(△)	57,427	△17,814
営業外収益		
受取利息	2,107	887
受取配当金	22,434	25,020
受取手数料	5,239	4,729
受取家賃	9,999	9,523
その他	9,612	15,287
営業外収益合計	49,391	55,447
営業外費用		
支払利息	2,588	2,418
為替差損	3,124	16,426
その他	839	1,052
営業外費用合計	6,551	19,895
経常利益	100,267	17,737
特別利益		
固定資産売却益	19	499
投資有価証券売却益	6,100	1,659
特別利益合計	6,119	2,158
特別損失		
固定資産除売却損	2,364	401
投資有価証券評価損	17,815	179
特別損失合計	20,179	580
税金等調整前四半期純利益	86,207	19,315
法人税、住民税及び事業税	53,370	46,099
法人税等調整額	17,920	13,923
法人税等合計	71,290	60,021
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,918	△40,706
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,724	△12,890
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	18,641	△27,815

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	14,918	△40,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,274	1,421
為替換算調整勘定	66,143	93,705
退職給付に係る調整額	△9,355	△13,842
その他の包括利益合計	87,061	81,284
四半期包括利益	101,979	40,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,688	36,513
非支配株主に係る四半期包括利益	10,291	4,065

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自令和3年4月1日 至令和3年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事業	建設・生活 関連品事業	工場設備 関連事業	介護事業	IT関連事業	合計
売上高							
外部顧客への売上高	2,559,047	1,387,553	2,378,987	481,193	292,120	174,061	7,272,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,381	—	15,008	19,351	—	2,259	49,999
計	2,572,428	1,387,553	2,393,995	500,545	292,120	176,321	7,322,961
セグメント利益 又は損失（△）	251,624	105,685	69,324	△39,207	△2,193	△20,305	364,928

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）
（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	364,928
セグメント間取引消去	△3,770
全社費用（注）	△303,731
四半期連結損益計算書の営業利益	57,427

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自令和4年4月1日 至令和4年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						合計
	切削機具事業	特殊工事業	建設・生活 関連品事業	工場設備 関連事業	介護事業	I T 関連事業	
売上高							
外部顧客への売上高	2,490,564	1,311,575	2,398,572	463,143	265,816	141,766	7,071,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,037	—	23,023	22,972	—	8,569	63,601
計	2,499,601	1,311,575	2,421,595	486,115	265,816	150,335	7,135,038
セグメント利益 又は損失（△）	176,452	103,157	72,933	△34,326	△22,297	△19,664	276,255

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	276,255
セグメント間取引消去	△9,101
全社費用（注）	△284,969
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△17,814

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。